



2013 年 6 月 13 日
日本貨物航空株式会社

NCA, 北米 4 拠点にて QEP 認定を取得

日本貨物航空株式会社（本社：千葉県成田市、社長：坂本 深）は、北米 4 拠点（シカゴ・ニューヨーク・ロサンゼルス・サンフランシスコ）において、温度管理コンテナ製造・リース大手の Envirotainer 社（本社：スウェーデン）が認定する **QEP (Qualified Envirotainer Provider)** を取得いたしました。既に今年 2 月に国内 2 拠点（成田・関空）において同認定を取得しており、日米間の主要路線にて、より高品質な温度管理輸送を提供できる体制が整いました。

QEP は、医薬品物流のガイドラインである GDP (Good Distribution Practice) に基づき、温度管理輸送に関して適切な品質管理および、ハンドリングに携わる職員の教育を継続的に実施している企業を評価する認定プログラムです。

当社は医薬品に代表される、厳格な温度管理を必要とする貨物を対象とした輸送商品「**NCA Pharmacare**」を 2009 年 9 月に当社の全ての就航路線を対象に導入し、日米路線では既に多くのお客様にご利用戴いております。当該商品の特長は以下の通りです。

- ・ 信頼性の高い Envirotainer 社のリースコンテナを使用
- ・ 荷主様や貨物の種別ごとに標準作業要領 (SOP) を設定し、出荷の都度関係基地に手順を周知
- ・ 当社ハブ基地の成田空港に NCA Pharmacare サポートデスクを置き、SOP の設定や関係基地へのオペレーションサポート、そして便のダイバートや大幅遅延が発生した場合などの緊急時対応を実施

現在当社は機齢の若い貨物専用機 (B747-400F, B747-8F) を 9 機運航しており、90% を超える高い定時運航率を維持しています。また、貨物専用機として製造された航空機の強みとして、全ての貨物室において 4-29℃の間で任意の温度設定が可能のため、万が一温度管理コンテナが輸送途上で不具合が発生した場合でも航空機貨物室の温度調節を行う事により、お客様の大切な貨物を守ります。

当社では、お客様に安心・安全な温度管理輸送をご提供するため、今後も品質管理や輸送技術の向上に取り組んで参ります。

【取得認定内容】

取得認定： QEP (Qualified Envirotainer Provider)

認定場所および、認定日：

成田空港支店 (NRT) 認定日:2013 年 2 月 7 日

千葉県成田市成田国際空港内 南部第 3・4 貨物ビル事務棟 2F

関西空港支店 (KIX) 認定日: 2013 年 2 月 7 日

大阪府泉南市泉州空港南 1 番地 国際貨物上屋 D 棟

サンフランシスコ支店 (SFO) 認定日: 2013 年 4 月 22 日

900 North Access Road, San Francisco International Airport,
San Francisco, CA 94128, U. S. A.

シカゴ支店 (ORD) 認定日: 2013 年 4 月 22 日

663 North Access Road, O'Hare International Airport, Chicago, IL 60666, U. S. A.

ニューヨーク支店 (JFK) 認定日: 2013 年 5 月 23 日

Cargo Bldg. 66, JFK Int'l Airport, Jamaica, NY 11430, U. S. A.

ロサンゼルス支店 (LAX) 認定日: 2013 年 5 月 23 日

6501 West Imperial Highway, Los Angeles, CA 90045, U. S. A.

お問合せ先: (国内) 事業戦略部マーケティングチーム: TEL 0476-32-9196

(北米) US Regional Customer Service : TEL +1 (773)-894-8400

以 上